

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 8 年 4 月 1 日

所在地：中巨摩郡昭和町築地新居 6 6 3 番地 1
企業名：一般社団法人山梨県消費者市民社会推進協議会
代表者：本田 万壽男

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

当協議会は、単なる商品・サービスの提供者ではなく、「持続可能な社会を共に創るパートナー」としての役割を担う。そのために、消費者教育を通じて、消費者が主体的に判断し行動できる消費者市民社会 (Consumer Citizen Society) の形成に貢献することを目的とし、官民ともに育成研修の場を形成し、県政策に協力する。

3 側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日：令和 5 年 4 月 1 日	(進捗率)
√環境 □社会 □経済	SDGs の環境分野は広範囲にわたりますが、「 気候 」「 資源 」「 生態系 」「 水 」「 エネルギー 」「 まちづくり 」の 6 つの軸で整理すると、全体像がつかみやすくなります。 特定分野向けにカスタマイズし、育成 (学習研修)・講演・地域行政との協働によるオブザーバ・有識者として推進するために参加。	全体の評価指標” 気候 →GHG▲46%、再エネ 60%・ 資源 →廃棄物▲30%、リサイクル率 70%・ 生態系 →保全プロジェクト 5 件、参加者 500 人・ 水 →水使用▲20%、水質 100% 遵守・ エネルギー →再エネ 60~80%、省エネ 100%・ まちづくり →緑地 10%増、防災教育 1,000 人	総括 (最重要ポイント) ・脱炭素 (気候) ・循環型社会 (資源) ・自然保全 (生態系) ・水の持続性 (水) ・再エネ・省エネ (エネルギー) ・安全で持続可能な地域 (まちづくり) この 6 つが、 SDGs 環境分野の“核” となる重点領域です。	65%
□環境 √社会 □経済	SDGs 「社会分野」における主要課題と取り組み。6 つの社会軸：教育・健康福祉・労働と経済・ジェンダーと人権・平和とガバナンス・地域社会。 教育分野 ：ICT 教育・デジタルリテラシー研修の提供、子ども・若者向けの金融リテラシー教育、社会人向けのリスキリング (再教育)。	社会分野 →2030 年指標 (例)・ 教育 →教育格差縮小、デジタル教育受講率 80%・ 健康福祉 →健康寿命延伸、メンタルヘルス相談体制 100%整備・ 労働 →働きがい向上指数 20%	総括 (最重要ポイント) SDGs の社会分野で最も重要なのは、「 人の尊厳・安全・成長・つながり 」を守る仕組みをつくること。	65%

	<p>健康福祉分野：健康教育・生活習慣改善プログラム、高齢者支援・地域包括ケアの推進、メンタルヘルス研修・相談体制の整備、地域医療機関との連携強化、消費者市民社会を育む教育プログラムの実施、労働経済分野：働き方改革（柔軟な勤務制度、テレワーク）、キャリア教育・職業訓練の提供、公正な採用・評価制度の構築、地域企業との協働による雇用創出、ジェンダー・人権分野：ダイバーシティ&インクルージョン研修、ハラスメント防止教育、多文化共生プログラム、女性活躍推進（管理職育成・制度整備）。平和・ガバナンス分野：情報リテラシー・フェイクニュース対策教育、コンプライアンス・倫理研修、行政の政策形成に市民参加を促す仕組みづくり、子ども・高齢者の安全対策。地域社会分野：地域コミュニティ再生プロジェクト、防災・減災教育の実施、地域産業の活性化（地産地消・観光）、行政・企業・住民の協働によるまちづくり。</p>	<p>改善、女性管理職比率 30%・人権→ハラスメントゼロ宣言、D&I 研修受講率 100%・ガバナンス→情報リテラシー教育受講者 1,000 人、透明性向上・地域社会→コミュニティ参加率 20%増、防災教育 1,000 人</p>	<p>そのための重点領域は次の 6 つに集約されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の公平性 ・健康と福祉の充実 ・働きがいと経済の安定 ・ジェンダー平等と人権尊重 ・公正で透明な社会運営 ・持続可能な地域社会の形成 	
<p>□環境 □社会 ✓経済</p>	<p>SDGs の経済分野で最も重要なのは、「誰もが参加できる持続可能な経済をつくること」。そのための重点領域は次の 4 つに集約されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きがいと公正な雇用の確保 ・産業・技術革新による生産性向上 ・地域経済と国際協力の強化 ・持続可能な金融の普及 	<p>SDGs の経済分野における重点指標は、次の 4 つに集約されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きがいと公正な雇用の確保（雇用・生産性・働き方） ・産業・技術革新の推進（DX・R&D・インフラ） ・地域経済と国際協力の強化（パートナーシップ） ・持続可能な金融の普及（ESG・資金支援・教育） 	<p>持続可能な経済成長・雇用分野：「誰もが安定して働き、成長できる経済基盤をつくる」産業・技術革新分野：「技術革新と産業基盤の強化で持続可能な経済を支える」パートナーシップ・地域経済分野：「協働によって地域と世界の経済を持続可能にする」持続可能な金融（ESG・SDGs 横断）分野：「持続可能な経済を支える金融の仕組みを整える」</p>	<p>(進捗率)</p> <p>65%</p>

2030年の目指す姿

2030年のSDGsが描く“理想の社会”まとめ

- ✓ 環境：地球の限界を超えない 脱炭素・循環型社会
- ✓ 社会：誰もが尊重され、安心して暮らせる 包摂的な社会
- ✓ 経済：持続可能で、誰も取り残さない 強靱で公平な経済

最終イメージ：「**環境を守り、人を大切にし、経済が持続的に発展する社会**」これが2030年のSDGsが目指す姿です。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第3号）「SDGs達成に向けた取組チェックリスト」（要件2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の**3側面の全てについて**重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。